

豊明市事務事業評価票（17年度事業） ソフト事業及びハード事業用						
事業名		マタニティ歯科クリニック				
総合計画上の事業名		健康づくりと医療	担当課 健康課			
予算事業名		マタニティ歯科クリニック	担当係 健康推進係			
事業の内容		①妊婦同士の交流会 ②歯科医師による講話と健診 ③歯科衛生士による歯科保健指導				
事業の目的		8020推進運動の一環として妊婦を対象に健診や教育及び保健指導を行う事で、歯科保健に対する意識を高め、ひいては生まれてくる子どもの口腔の健康管理とう蝕罹患率の低下につなげていく。				
指標		16年度までは集団方式にて実施するも瀬戸保健所管内で比較しても受診率は低く（6.9%）費用対効果の低い事業であった。このことから17年度以降は医療機関委託方式に切り替え、対象も産後1年以内の産婦も対象に枠を広げ受診率の向上を目指す。H16年度対象700人（見込）実績55人（見込）受診率（7.8%）、H17年度以降は2倍以上の受診率を目指していく。				
事業実績及び目標		【実績値及び目標値】				
			実績(人(受診率))	目標(人(受診率))	職員数	事業費(決算見込額)千円
		平成14年度	71人(9.6%)		0.04	報酬・賃金等 408
		平成15年度	48人(6.9%)		0.04	408
		平成16年度	46人(6.6%)	55人(7.9%)	0.04	↓ 408
		平成17年度	161人(20.5%)	100人(14.3%)	0.06	委託料 611
		平成18年度		110人(15.7%)	0.06	444
		平成19年度		120人(17.1%)	0.06	↓ 482
平成20年度		130人(18.6%)	0.06	↓ 520		
総合評価及び今後の対応		【達成率】 161.0%		成果指標の当該年度目標に対する達成度 目標値を達成しなかった		
		【必要性】 A		必要性、有効性、効率性、市民満足度については、 チェック表を基に A 大いにある、B 普通、C ほとんどなし から選択		
		【有効性】 A				
		【効率性】 C				
		【市民満足度】 B				
		【総合評価（担当課）】 B		総合評価については、 A 予定どおり進める B 見直しが必要(手法等) C 見直しが必要(縮小) D 廃止が相当 から選択 評価理由についても 記載してください		
		現状の年6回の集団方式による実施スタイルでは、対象者の利便性からみても実績の伸びは期待されず費用対効果の悪い事業である。しかしながらこの事業の意義はあり改善策を講じて実績をあげる必要がある。				
		【総合評価（審査会）】 B				
		改革プランに沿って進めること				
		【総合評価（最終評価）】 B				
【改革プラン】 総合評価がB、C、Dの場合記入						
17年度以降対象を妊婦のみから妊婦と産後1年未満の産婦にも枠を広げことと、受診券を交付し市内歯科医院への委託方式に切り替えることで、年間を通して対象者が利用しやすい機関で受診できるように利便性を考慮し、受診率の向上を目指す。						
【改革プランへの対応】（何をどのように実施したか）						
17年度は「妊産婦健康診査事業」として愛豊歯科医師会豊明支部と委託契約を交わし実施した。対象者には母子健康手帳交付時に受診券を交付し妊娠中及び産後1年未満に利用時期を拡大し、年間を通して受診できるように利便性を図った。						